

かんごが だより

2017.11.17



第48回日本看護学会学術集会(看護管理) 発表

外来2交代制勤務導入に向けた 検討

○西田千加子・橋恭子・平野民子
・藤本知宏・大平久美

「病棟と外来との協働」 ～組織変革における管理者の 取り組み

○平野民子・西田千加子・橋恭子
・藤本知宏・大平久美

目的

外来の夜勤業務量を可視化し、2交代制勤務導入に向けた可能性の検討

方法

タイムスタディーによる業務量調査

結論

1. 間接業務は、待機時間（準夜52分/人・日、深夜100分/人・日）が最も多く、次にナース間の申し送り、職員の健康管理（食事・休憩）であった
2. ナース間の報告・申し継ぎ総時間のうち49%が勤務交代時の申し送りである
上記の業務を整理することで、外来夜勤回数の削減や2交代制導入の可能性が示唆された

目的

病棟外来協働体制への不安を緩和するために看護管理者がおこなった支援について検討

方法

質問紙法
（3北病棟看護師、外来看護師を対象）

結論

管理者がおこなった効果的な取り組みは、以下の内容であった

- ・看護手順の作成、学習会の開催、部署内での情報共有・検討
- ・目標管理、スタッフ間のコミュニケーションが円滑に図れるような環境調整

★今回学会に参加された師長コメント

看護部将来像にある、「人材（財）豊富な組織」になるため、今後も協働体制を実践していきます。

院内の取り組みである“病棟・外来との協働”について研究を行い、発表するという機会を得ました。
これもひとえに皆さんの頑張りの結果がもたらした成果だと考えます。協働は院内全体で取り組んでいますので、一緒に成長していきましょう。

（余談：学会発表を行うことで、北海道で沢山美味しいものを飲食し、身も心もリフレッシュできました!!）
本館3階北：平野民子

看護部の将来像「人材（財）豊富な組織になる」ために、管理者としてどのように実践に繋げていくべきか、人的資源管理・チーム医療・労務管理・医療安全・看護ケア質向上・継続教育等の視点から情熱溢れる看護師が集結しました。人材育成は、未来への可能性と捉え、やり続けることだと痛感してきました。本館4階北：西田千加子

10月12・13日に看護管理学会に参加してきました。学会発表に向けて期日との戦いでしたが、北海道というエンジンをぶら下げ、頑張りぬくことができました。会場は「もっと看護を良くしたい」「看護師を大切にしたい」という熱い思いと、変革に向けたエネルギーに溢れており、私のテンションもmaxに達しました。学会の醍醐味は、新たな情報を得られることと、ちょっぴり旅行気分になれることです。皆さんも自分の実践を報告してみませんか？
外来：橋恭子

組織変革の要である「病棟・外来との協働」の実際について、12月15日の看護研究発表会でも報告します。
～「時間管理」…時間厳守で集合！～